

# リハビリテーション スポーツ 投稿規定

(令和4年4月1日改定)

## I. 投稿内容

疾病または障害を持つ人の体育の理論と実践に関するもの。

## II. 原稿の種類

論文の種類は「原著」「研究報告」「実践報告」「総説」「短報」「症例報告」などとし、その他、学会・研究会報告、会員の声、資料、ニュース等も歓迎する。

## III. 投稿資格

投稿に際しては、筆頭著者は当学会の会員でなければならない。但し、編集委員会による依頼原稿の場合はこの限りではない。

## IV. 採否および掲載順序

原稿の採否の決定は編集委員会で行い、掲載は原則として採用決定順とする。

## V. 著作権

本誌に掲載された原稿の著作権は当学会に帰属する。

## VI. 執筆枚数

原著、研究報告、実践報告は8000字程度、短報、症例報告は6000字程度とする。図表などは1点につき400字相当として、総文字数(文献とも)に含める。

## VII. 執筆要綱

1. 原稿はパソコンを使用して作成する。A4判用紙に32字×25行のスタイルで、行間・余白を十分にとって印字する。
2. 原稿の第1枚目の上半分に題名、著者名、所属、所在地、キーワード(3語程度)を記載し、英文表記を付記する(所在地を除く)。下半分に原稿の種類、本文枚数、図表数、別刷希望数を記す。
3. 原著には英文抄録をつける。
4. 本文は、緒言、方法、結果、考察、結論の体裁を参考にして作成する。
5. 文献について
  - 1) 本文中で引用文献に言及した場合、文章か著者名の右肩に末尾の文献に照応する番号をつける。
  - 2) 共同執筆の著者名は4人目以降を「, 他」 「, et al」として省略してもよい。
  - 3) 記載方法は下記の要領と礼に従い引用順に末尾に一括する。

[雑誌の場合]

著者名: 論文名, 雑誌名, 巻数(号数): 項数(始

-終), 発行年

(例) 宮原資英: 障害者や高齢者の個性に適合した体育スポーツ~これからの実践と理論と研究の融合. リハビリテーション スポーツ, 26(1): 14-19, 2007

(例) Deruelle F, Nourry C, Mussi P, et al.: Optimal Exercise Intensity in Trained Elderly Men and Women. International Journal of Sports Medicine, 28(7): 612-616, 2007

[書籍の場合]

### 1. 単著、共同執筆

著者名: 書名, 項数(始-終), 出版社名, 発行年

(例) 飯島節, 鳥羽研二: 老年学テキスト. 127-131, 南江堂, 2001

### 2. 分担執筆

著者名: 論文題名, 編集名(編): 書名, 項数(始-終), 出版社名, 発行年

(例) 坂井智明, 伊佐地隆: 脳血管疾患後遺症. 田中喜代次, 大藏倫博(編): 健康運動の支援と実際, 155-161, 金芳堂, 2006

## VIII. 別刷料

別刷りを希望する場合は30部以上とし、有料とする。

## IX. 原稿の送付

原稿1部を送付先に郵送する。全文をCDに保存して同封する。ファイル形式はMSOffice(ワード、エクセル、パワーポイント)またはPDFファイルに限る。

なお、全文、全図表を合計3MB以下の添付ファイルとして送信できる場合に限り、E-mailでの送付を受け付ける。

## X. 英文での投稿

英語で投稿を希望される方は、編集委員長まで問い合わせてください。

## 送付先

〒300-2622 茨城県つくば市要1187-299

医療法人社団 筑波記念会 筑波記念病院  
フェニックス内 日本リハビリテーション  
スポーツ学会

事務局: 古澤弦

E-mail: jars.office.1982@gmail.com